

府立中津支援学校 令和7年度「学校運営協議会」議事録（第2回）

日時	令和7年12月2日（火）10:00～12:00			
出席者	協議会委員	所属等	学校事務局	校務分掌等
	川田 和子	大阪夕陽丘学園短期大学 教授	木下 美香子	校長
	大橋 弘嗣	大阪整肢学院 院長	入福濱 光	教頭
	園田 葉子	DDD クラブ 代表	中村 隆子	事務長
	梅谷 通代	中津保育園 園長	宇賀 功二	首席
	花咲 典之	中津連合振興町会 会長	野島 香織	小学部主事
			久保 太作	中学部主事
			三木 智裕	高等部主事
			長田 亮司	進路指導主事
傍聴人	なし			
おもな テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度 学校経営計画進捗状況について ・ 各学部の取組みについて 他 			
協議内容の 概略	<p>1. 令和7年度 学校経営計画進捗状況について 校長より、9月19日時点の今年度の各取組みにおける進捗状況について資料をもとに説明を行った。</p> <p>2. 各学部の取組みについて 各学部の取組みとして、修学旅行について報告を行った。今年度の修学旅行の目的地は、高等部が名古屋方面、小学部が神戸方面、中学部が和歌山・白浜方面で、それぞれスライド（写真）を見ながら部主事より説明を行った。</p> <p>3. 中津まつり（11月29日実施分）について 教頭より、中津まつり本番の動画を活用しながら、各学習グループの取組みについて報告を行った。</p> <p>4. その他の取組みについて (1) 校内実習について 今年度、校内向けに作成した校内実習の紹介動画について、進路指導主事より、動画を見ながら説明を行った。</p> <p><委員より></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等部卒業後について、施設入所している多くのケースで、進路が決まっていないことを理由に卒業と同時に施設を退所できない場合があるが、中津支援学校では、しっかりとした進路指導をしていただいているおかげで、子どもたちが喜んで次のステップに進んでいっていると感じている。 ・ 小学生段階で進路の体験をさせていることは、早い段階で将来への目標がもてるようになり、良い体験だと感じた。 ・ 卒業後に通う場の確保は学校がしっかりと取り組まれているが、生活の場についてはどうのようにされているのか。 			

<進路指導主事より>

働く場・日中活動する場は学校が、夜間等を含めた生活の場は大阪整肢学院がそれぞれ主体となり、大阪整肢学院の相談室と相談・連携をしながら、進路支援を進めている。

(2) プログラミング教育ロボ『KUMIITA（クミータ）』及び、子どものための読み放題型電子図書館『Yomokka!』について

学校経営計画の2（2）イと1（3）アにおける、「KUMIITA」及び「Yomokka！」の導入・整備状況について、教頭より、児童生徒が実際に授業で使用している場面の動画を見ながら、活動の様子を報告した。

(3) 府立支援学校 NKC ものづくりチャレンジカップ、ライオンズクラブによるクリスマスイベント、ドラムフェスタ、学校教育自己診断について

中学部が制作したレザークラフトが「府立支援学校 NKC ものづくりチャレンジカップ 2025」の最終審査会（12月17日（木）開催）に進出したこと等、今後予定している取組みについて、首席より報告した。

5. 質疑応答

- コロナウイルスやインフルエンザウイルス等による感染症の対策について、今までのところ児童生徒は罹患することなく過ごせている。先生方の感染症予防・拡大防止対策へのご理解とご協力のおかげであり、感謝している。
- これまで中津支援学校における中学部卒業後の進路については、おおよそすべてのケースで、中津支援学校の高等部に進学してきたが、今年度、本人・保護者の思いや願いを十分に確認して、より生徒の実態に合った進路指導をしていただいた。これからも様々な児童生徒が大阪整肢学院に入所することになるとは思うが、本人・保護者に寄り添いながら子どもたちの実態に合ったご指導とご支援を引き続きお願いします。
- 高等部の最終学年になると、卒業後の不安や後輩からの期待等をプレッシャーに感じ、精神的なストレスとなり不安定になることがあるが、このことについてご理解のうえ、学校でのサポートもお願いします。
- 学校行事の精選について『スポーツのつどい』と『中津まつり』の隔年開催を検討しているとの話があったが、人前での発表する場は、子どもたちに、普段の授業だけでは得られない、本当に大きな力を付けていくということを、これまで何度も経験していた。先生方の大変さはよく分かるが、行事は減らさないでほしいと思う。
- 今年度の中津まつりに、当施設の職員が参加した。その職員から「子どもたちがどういった形で発表して、保護者の方がどういう反応をして、そして、会場が一つになった瞬間から、これまでの積み重ねの大切さが伝わりとても感動した。」との報告を受けた。
- 働き方改革については、当施設も同じ課題をもっている。行事の精選や会議の進行方法等、単に取りやめる、時間を短くすればいいわけではない。中津支援学校の課題に向けた取組みを参考に、当施設でも検討していきたいと考えている。当

	<p>施設では、日々の活動を参観・保護者の参加という形で一緒に楽しんでもらう方法について探っているところである。</p> <ul style="list-style-type: none">・働き方改革は、地域の小・中学校でも模索されている状態だと聞いている。・インフルエンザが大流行しており、地域の小学校では学級閉鎖が出ている。中津支援学校で、まだ罹患者がいないことは、先生方がウイルスを持ち込まないようにきちんと対策されているものと察する。引き続き、今の状態を維持してください。・『Yomokka!』、『KUMIITA』等、新しい教材との出会いは、先生方が様々な情報にアンテナをはっていることが必要だと思う。柔軟・スピーディな学校の運営体制が見受けられ、それが子どもたちを伸ばしていくことに繋がっていると感じ取れた。
--	--